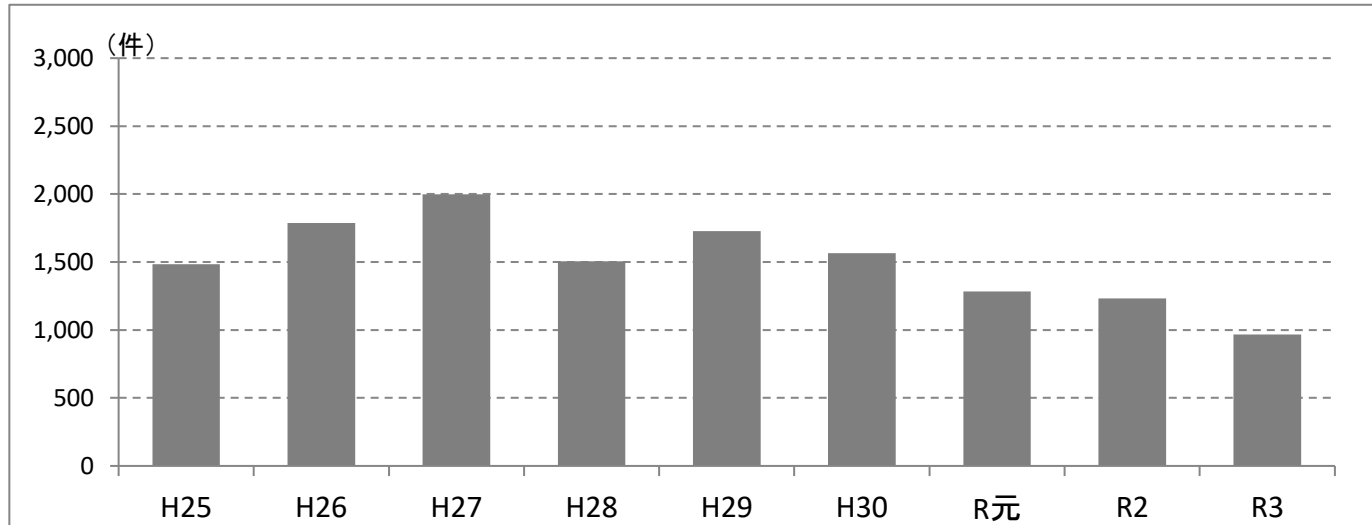


## インシデント報告件数

(単位：件)

	25年度 <small>(2013年度)</small>	26年度 <small>(2014年度)</small>	27年度 <small>(2015年度)</small>	28年度 <small>(2016年度)</small>	29年度 <small>(2017年度)</small>	30年度 <small>(2018年度)</small>	元年度 <small>(2019年度)</small>	2年度 <small>(2020年度)</small>	3年度 <small>(2021年度)</small>
インシデント報告件数	1,483	1,786	1,997	1,505	1,728	1,566	1,284	1,231	967



## 転倒転落 レベル3 b以上の件数

(単位：件)

	25年度 <small>(2013年度)</small>	26年度 <small>(2014年度)</small>	27年度 <small>(2015年度)</small>	28年度 <small>(2016年度)</small>	29年度 <small>(2017年度)</small>	30年度 <small>(2018年度)</small>	元年度 <small>(2019年度)</small>	2年度 <small>(2020年度)</small>	3年度 <small>(2021年度)</small>
転倒・転落 レベル3b以上	6	1	3	3	4	1	3	5	0

### 〔参考〕

◎ 公表基準

- (1) レベル4 b～5に相当する過失のある医療事故は、可及的速やかに、個別に公表する。
- (2) レベル3 b～4 aに相当する過失のある医療事故は、包括的に公表する。
- (3) その他、公表することの社会的意義が大きい事例や、病院運営上又は社会的に重大な影響を与える事例については個別に公表する。

区分	障害の継続性	障害の程度	内容
レベル5	死亡	—	死亡（原疾患の自然経過によるものを除く）
レベル4 b	永続的	中等度～高度	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
レベル4 a	永続的	軽度～中等度	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない
レベル3 b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者への入院、骨折など）
レベル3 a	一過性	中等度	簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の場合、鎮痛剤の投与など）
レベル2	一過性	軽度	処置や治療は行わなかった（患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた）
レベル1	なし	—	患者への実害はなかった（何らかの影響を与えた可能性は否定できない）
レベル0	—	—	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった